

須磨のり 河昌店主 まっさんだより

第49号

株式会社河昌 電話：078-733-0791 FAX：078-734-0567 〒654-0045 神戸市須磨区松風町5-1-22

●今回より「河昌通信」改め、「まっさんだより」発行します。よろしくお願ひします。●

皆さん、こんにちは。寒い日が続きますが、お風邪など召されていませんか？

さて、毎月お届けしている「河昌通信」、今回より「まっさんだより」と改題いたしますので、お届けさせていただきます。NHKの朝ドラの主人公が、同じ「まさはる」で「ま、さん」と呼ばれているのを知り、そういえば、子供の一時期「ま、さん」と呼ばれていたの思い出が改題された。「まっさんだより」にお願ひ致します。

さて、平成7年の阪神大震災の翌年、平成8年9月に父から社長とバトンタッチして、18年の月日が過ぎました。その父も10月に亡くなり、いよいよ、私一人で女将とカモ合わせて河昌を経営していく覚悟です。その私が河昌を通じて実現したい夢は、「家族そろって笑顔の食事」をお手伝いすることです。

私には小学校の頃のお弁当で忘れられない思い出があります。東京リポックと小学4年の時迎えた私、運動会には必ず、両親と祖母が応援に来てくれました。当時の私は体が大きく、運動もできたので、競技やラリーでも、行進も必ず先頭で目立つほうでした。でも一番目立っていたのは、昼食の時、保護者といっしょに校庭で食べるのですが、母が用意してくれたのは、必ずお寿司。それも当時ではめずらしく、ウインナーやハムや玉子焼きとマヨネーズであえた、細巻をでした。母は気前よく、家族だけで食べてはならない位、作ってくれたので、仲の良い友人は、皆なとりに来て手でつまんでほうほうしていました。本当に美味しかったです。ある時から、お寿司屋さんでもサラダ巻がメニューに並ぶようになりましたが、今でも、「うちの母が作った細巻が一番や」と思っています。父の葬儀で皆さんが父の思い出を語り、下さる中、私は父に「ご苦労さよう」と思いはかり、残った母を大切にすると、思っていました。



河昌は父が表に立ち、母が陰で支えていました。今私も女将とカモ合わせて、「家族そろって笑顔の食事」といつても多くの家庭で実現するよう、頑張ります。最後までお読み下さい。ありがとうございます。

【発行者プロフィール】

株式会社河昌 代表取締役
藤井 昌治 (ふじい まさはる)
生年月日: 1955年12月16日生まれ
出身地: 大阪府東大阪市
趣味: 夫婦で映画、ひとりで読書

経歴: 大阪市立大学→シャープ→河昌
打ち込んできたもの: バレーボール
家族構成: 妻潤子、長女望、長男智大、
母佳子
モットー: 起承転結

